

平新報

發行日 五月三日
山野 遼 庄 吉
編輯 山野 遼 庄 吉
發行所 平新報社
廣告料 一冊五錢
定部 五風

滿洲國見本市開催に付き出張員として

此より早速飛行便にて小名位に過ぎず午後より入る数字を見て益々成績良好
西氏に通知する（小西氏は場者も午前より多く夕方なるを以て第三回を本年奉
我等の爲め機關雜誌を經營では百名前後にて商談と天市に開催したのである然
せられる人）夕刻江ノ島町には遊藝の百六十回他は本年の見本市に極力各
に昨年より取引する高橋海産物に清酒の即買が多少府縣に勧誘せし結果一道三
氏を尋ね見本市の準備等打あつたのみ不成績と見るよ 府三十三縣の参加を得て取
合せて宿に歸れば午後八時より外なし午後七時より日滿引約金高百萬元と云ふ
過ぎ福島縣増田氏より電 本館にて御茶の會を見たのである實に其
報來る明日午後三時奉天若 報來る明日午後三時奉天若 報來る明日午後三時奉天若
の通信なり。

九月二日見本市會場として島縣人會館事務所各實業家の奮闘の賜ものと
奉天千代田通り日滿貿易館等四十名席上主人側を云ふ外ない此の催しに付
内に會場の設備等の爲め行代表として課長の挨拶あり又見本市參觀者
きたるに日滿貿易館にて手き來賓代表的に輸入組合理を賛成せられ見本市
廻して整理して何時でも陳事の挨拶に曰く 過日は臺の爲に運賃の割引又は無賃
列の出來得る様準備せられ海より見本品展示會に來滿輸送等種々便宜を興へられ
たり午後三時九分着列車にせられたる然も豫期の効果のたる結果は北滿蒙古方面よ
て一行六人を出迎ふ直ちに上らないのを遺憾と思ふ實に來奉せられたる事が見本
大星ホテルに旅費を解かれは我が見本市を指さされた市を成功ならしめたので
市内を一巡して明日ののらうと思ふ滿洲輸入組の今後又第四回五回と回数
準備打合せをする。

九月四日商工課長には縣人 合にては去る昭和五年始めを重なる上は一千萬元の取
會長の案内にて總領事館 催した其節は始めての事であるから今後の見本市開
入組合商工會議所其他挨拶もあり御覧とてなく實に催には必ず御案内申上るか
に廻られ其他は陳列品の荷資額なるものであつた其れ其れ時々大々的の参加
解整理等として午後漸々整故功果の程度も期待に置かんこと云ふ挨拶であつた
備せり一行中林平藏氏は先なかつたが二府十一縣の参又日滿貿易館の矢野氏
發として午後三時十五分の 加ありて取引契約高は三十には輸入組合の主催
急行にて新行へ行く。 余萬圓であつたそれに力を参加は最も意義ある事な
九月五日午前八時よりの開 得て第二回を昭和六年に大と又一方には常設
場なれば朝食早々會場に至 連市に於て開催した時は參陳列館の如きものも
り來場者を待つはしに 加府縣は三府十八縣一連にと思ふ日に月に進新の商
て午前中の入場者は三十 取引契約金高百萬元と云ふ品を陳列して常に滿洲人

需要をかん起させ其の便宜五人は話の盡きる事なく退
を計る事が出来ればお互の屈もせず午後七時五十分新夜は白々と明けそめたり
利益にからである其常設の京驛に着く驛には福島縣人南京虫は滿洲の名物なりと
の一例を上げれば廣島縣物會の人々の出迎ひを受け懇の事それで新行の二流の宿
産紹介所名古屋各商品紹介切なる待遇を謝す 吉田屋屋で如此他は推して知るべ
所名古屋日滿貿易商會神旅館に入る新行の福島縣人きのみ。

道新海縣岡山縣神奈川縣石の縣人は明日よりの順序に
川縣滋賀縣和歌山縣大坂府種々打合せをして事業が出来たが今日は夏服に
開縣等數れば一府十八縣の完備に盡力せられる事をては寒むきを感する表の道
に及び皆見本品を陳列して 信じて歸る最夜も午路はアスハルトなるも支那
駐在員を滿洲の各都市に留後十一時を過ること三十分馬車の多き爲め泥道となる
き活動して宣傳に勤め相當なり床に入れば間もなく増自分と篠崎氏は各商店訪問
高縣に於ては始めは極少規てさへして大騒ぎをして漸沙汰を謝す爲め訪問して今
模にして縣は是れに助成金々捕へて又々床に入る然夜は新行の福島縣人會の招
を補助して如此計畫あらんことを希望するとの挨拶なり
り會食後散會に當り縣より 招待者一同に記念品を配り
の通信なり。

九月六日會場の跡始末して 明治四十二年兄が貧しい 將來した、こゝに於てか大
奉天千代田通り日滿貿易館等四十名席上主人側を云ふ外ない此の催しに付
内に會場の設備等の爲め行代表として課長の挨拶あり又見本市參觀者
きたるに日滿貿易館にて手き來賓代表的に輸入組合理を賛成せられ見本市
廻して整理して何時でも陳事の挨拶に曰く 過日は臺の爲に運賃の割引又は無賃
列の出來得る様準備せられ海より見本品展示會に來滿輸送等種々便宜を興へられ
たり午後三時九分着列車にせられたる然も豫期の効果のたる結果は北滿蒙古方面よ
て一行六人を出迎ふ直ちに上らないのを遺憾と思ふ實に來奉せられたる事が見本
大星ホテルに旅費を解かれは我が見本市を指さされた市を成功ならしめたので
市内を一巡して明日ののらうと思ふ滿洲輸入組の今後又第四回五回と回数
準備打合せをする。

九月四日商工課長には縣人 合にては去る昭和五年始めを重なる上は一千萬元の取
會長の案内にて總領事館 催した其節は始めての事であるから今後の見本市開
入組合商工會議所其他挨拶もあり御覧とてなく實に催には必ず御案内申上るか
に廻られ其他は陳列品の荷資額なるものであつた其れ其れ時々大々的の参加
解整理等として午後漸々整故功果の程度も期待に置かんこと云ふ挨拶であつた
備せり一行中林平藏氏は先なかつたが二府十一縣の参又日滿貿易館の矢野氏
發として午後三時十五分の 加ありて取引契約高は三十には輸入組合の主催
急行にて新行へ行く。 余萬圓であつたそれに力を参加は最も意義ある事な
九月五日午前八時よりの開 得て第二回を昭和六年に大と又一方には常設
場なれば朝食早々會場に至 連市に於て開催した時は參陳列館の如きものも
り來場者を待つはしに 加府縣は三府十八縣一連にと思ふ日に月に進新の商
て午前中の入場者は三十 取引契約金高百萬元と云ふ品を陳列して常に滿洲人

三猿文庫

（入庫本目録）
○日本名勝旅行辭典諸根贈 ○國政資料 七月號
○模範最新世界年表 ○内觀 八月號
○六月號 其社 ○柿の蒂
○書物展望 六月號 其社 ○書物展望 八月號
○内觀 六月號 其社 ○ドナルド
○書物展望 六月號 其社 ○竹書千字文
○（書物展望創刊より捕） ○山のしづく
○（ドナルド）創刊より捕 ○國史研究資料 八月號
○藥用される郷土植物 ○自由通商 八月號
○研究 佐川氏 ○文字 八月號
○日本現六月 坂田倉三氏 ○日本現 八月號
○ラヂオ年鑑 ○國政資料 八月號
○八年度、日本放送協會 ○濟美 第一號
○國政資料 六月號 ○文休 八月號
○日本鐵道史 上中下篇 ○日本現 九月號
○朝鮮鐵道史 六月號 ○兒童問題研究
○以上四冊 諸根正一氏 ○書物展望 九月號
○國史研究資料 六月號 ○ドナルド 九月號
○濟美 六月號 ○自由通商 九月號
○三休千字文山野遼庄吉氏 ○麟帶 第二輯
○悔狀指鑑 ○旅の抒情 其社
○ドナルド ○結城宗廣大勳王論
○書物展望 七月號 ○文休 九月號
○自由通商 七月號 ○文學 九月號
○大阪滑稽新聞増刊 ○日本現 九月號
○繪畫書世界二十六冊全編 ○濟美 九月號
○著書及藏書 二冊 ○國政資料 九月號
○内觀 七月號

平安會に對し

聲明

安藤信義 (三)

明治四十二年兄が貧しい 將來した、こゝに於てか大
正十一年に（對馬守信正）
の銅像建設によつて或種の
カモフラージュした譯であ
つたろうが兎角誠意がない
爲に講談雜誌のゴシップ欄
に「僕は眞實の安藤家の
正統であるか？何たる趣
許し得ぬ〇〇である、
若し是れが第三者の立場な
れば當然の疑問である。
亡兄當時の療養所大勝温泉
樓上に指定相續方を強請し
た折に承知であらねばな
らぬ事情の下に置かれた人
として眞意を質したい。
此稿書きつゝある時平安會
幹部青沼氏が僕に好意をよ

藤沼 醫院
平町紺屋町 電話五〇七番
電話五二三番

内科、小兒科、皮膚科
藤沼 醫院
平町紺屋町 電話五〇七番
電話五二三番

室翁米壽祝賀、表彰式

第六回磐城剣道演武大会

「限報」室直與翁米壽の祝賀を併せた磐城剣道演武大会第六回(發會式を併せて)演武大会は去月十五日午前八時より磐中講堂に於て開催された、その式次第は左の如く。

一開會の辭 副會長小野寛美氏 室先生米壽祝賀會表式に移り

一表彰状、紀念品等贈呈 (紀念品は翁舞の床置) 祝辭として別項の如く會長加藤丈夫氏 平町長青沼隆太郎氏、磐城柔道有段者會長諸橋久太郎氏ありて翁の謝辭あり演武試合に進む

△優勝旗、優勝刀の返納

△一般試合 三十七組

△優勝刀試合有段者トナメント式にて根本名治 草野又藏 佐藤勝虎 田中清

「限報」室直與翁米壽の祝賀を併せた磐城剣道演武大会第六回(發會式を併せて)演武大会は去月十五日午前八時より磐中講堂に於て開催された、その式次第は左の如く。

一開會の辭 副會長小野寛美氏 室先生米壽祝賀會表式に移り

一表彰状、紀念品等贈呈 (紀念品は翁舞の床置) 祝辭として別項の如く會長加藤丈夫氏 平町長青沼隆太郎氏、磐城柔道有段者會長諸橋久太郎氏ありて翁の謝辭あり演武試合に進む

△優勝旗、優勝刀の返納

△一般試合 三十七組

△優勝刀試合有段者トナメント式にて根本名治 草野又藏 佐藤勝虎 田中清

「限報」室直與翁米壽の祝賀を併せた磐城剣道演武大会第六回(發會式を併せて)演武大会は去月十五日午前八時より磐中講堂に於て開催された、その式次第は左の如く。

一開會の辭 副會長小野寛美氏 室先生米壽祝賀會表式に移り

一表彰状、紀念品等贈呈 (紀念品は翁舞の床置) 祝辭として別項の如く會長加藤丈夫氏 平町長青沼隆太郎氏、磐城柔道有段者會長諸橋久太郎氏ありて翁の謝辭あり演武試合に進む

△優勝旗、優勝刀の返納

△一般試合 三十七組

△優勝刀試合有段者トナメント式にて根本名治 草野又藏 佐藤勝虎 田中清

「限報」室直與翁米壽の祝賀を併せた磐城剣道演武大会第六回(發會式を併せて)演武大会は去月十五日午前八時より磐中講堂に於て開催された、その式次第は左の如く。

一開會の辭 副會長小野寛美氏 室先生米壽祝賀會表式に移り

一表彰状、紀念品等贈呈 (紀念品は翁舞の床置) 祝辭として別項の如く會長加藤丈夫氏 平町長青沼隆太郎氏、磐城柔道有段者會長諸橋久太郎氏ありて翁の謝辭あり演武試合に進む

△優勝旗、優勝刀の返納

△一般試合 三十七組

△優勝刀試合有段者トナメント式にて根本名治 草野又藏 佐藤勝虎 田中清

「限報」室直與翁米壽の祝賀を併せた磐城剣道演武大会第六回(發會式を併せて)演武大会は去月十五日午前八時より磐中講堂に於て開催された、その式次第は左の如く。

一開會の辭 副會長小野寛美氏 室先生米壽祝賀會表式に移り

一表彰状、紀念品等贈呈 (紀念品は翁舞の床置) 祝辭として別項の如く會長加藤丈夫氏 平町長青沼隆太郎氏、磐城柔道有段者會長諸橋久太郎氏ありて翁の謝辭あり演武試合に進む

△優勝旗、優勝刀の返納

△一般試合 三十七組

△優勝刀試合有段者トナメント式にて根本名治 草野又藏 佐藤勝虎 田中清

表彰状

室直與翁先生 翁多年地方剣道、爲 盡瘁セラレ其効績定ニ顯著ナルモノアリ 仍テ茲ニ米壽ヲ祝シ且ツ謝恩ノ意ヲ表スル爲紀念品ヲ贈呈シ之ヲ表彰ス

昭和八年十月五日 磐城剣道會長 加藤 丈夫

會長の祝辭

此所ニ謝恩ノ意ヲ表スルニハ十七歳歳録トシテ壯者トシテ近郷ニ其ノ比ヲ見史に燦然として耀きを發したるや各方面に發揮される時には町村自治の長として進められたいのであります

昭和八年十月十五日 諸橋久太郎

深厚ナル意義ヲ齎スモノ 平町長ノ祝壽

本日ハ室直與翁先生ガ最モヘテアリマスガ、翁ガ徳風祝福スベキ米壽ノ賀ヲ開ハ世已ニ尊敬シテ措カザルカレ實ニ祥瑞堂ニ溢レ賀客處デアリ、今日之ノ壽筵ヲ座ニ滿ツルノ盛況デアリマ 敬ラシクニ至リマシタ動機シテ、不肖モ亦幼少ヨリ翁ノ積年ノ善因善果ノ結晶デシテ、願フセシ故ヲ以テ席末アル事ハ勿論明治初年以來ヲ汚スコトヲ得マシタ事ヲ欣ニ感ズルモノデ御座ヒ

昭和八年十月十五日 青沼隆太郎

柔道會長の祝辭

建國創業の當初より一貫日本民族の誇は彌が上にも流れて居るは武云ふ富揚せられたのであります

昭和八年十月十五日 加藤 丈夫

會長の祝辭

此所ニ謝恩ノ意ヲ表スルニハ十七歳歳録トシテ壯者トシテ近郷ニ其ノ比ヲ見史に燦然として耀きを發したるや各方面に發揮される時には町村自治の長として進められたいのであります

昭和八年十月十五日 諸橋久太郎

深厚ナル意義ヲ齎スモノ 平町長ノ祝壽

本日ハ室直與翁先生ガ最モヘテアリマスガ、翁ガ徳風祝福スベキ米壽ノ賀ヲ開ハ世已ニ尊敬シテ措カザルカレ實ニ祥瑞堂ニ溢レ賀客處デアリ、今日之ノ壽筵ヲ座ニ滿ツルノ盛況デアリマ 敬ラシクニ至リマシタ動機シテ、不肖モ亦幼少ヨリ翁ノ積年ノ善因善果ノ結晶デシテ、願フセシ故ヲ以テ席末アル事ハ勿論明治初年以來ヲ汚スコトヲ得マシタ事ヲ欣ニ感ズルモノデ御座ヒ

昭和八年十月十五日 青沼隆太郎

祝、創刊拾週年

平町二丁目 御料理 越の家 井城千代松	平町田町 御料理 春乃家 村上六平	湯本郵便局長 高野鑛泉中の湯 佐藤八郎	湯本郵便局長 鯨岡 潔 御代未鶴	湯本町 旅館組合 旅館 春木屋	湯本町 昭 和 館 旅館 吉田屋	湯本町 四ツ谷酒店 元湯 さらくや	湯本町 芳賀良太 高木善枝	湯本町 高濱兼義 永山定秀	湯本町 比佐源造 佐竹智明	湯本町 木村徳三郎 古川傳一	湯本町 大越 新 坂本龜太郎	湯本町 箱崎 清一 鷺 清昇
---------------------------	-------------------------	---------------------------	------------------------	-----------------------	------------------------	-------------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------



翁與直室

謝辭

秋秋日ニ清冷ヲ加ヘ金氣日ニ溢レントスル時諸彦各位ニ於テ不肖直與ノ壽ヲ祝...

室直與翁謝恩

米壽祝賀贊助芳名錄

- 發起者 加藤 丈夫 河野 寬 山野 邊 吉美 山野 邊 吉美 加藤 丈夫...

新に昇段せる人々

警城柔道有段者會

警城柔道有段者會第十回本行正(双中)門門(湯)審査會は十月十七日警城中道本會道場...

題、創刊拾週年

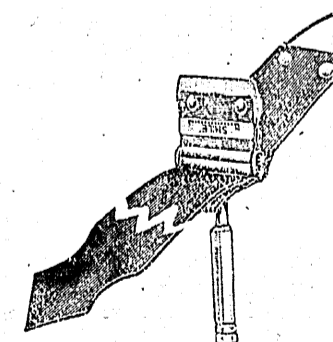
山野 邊 眞 立

帝都の大變難、關東大震これ皆新聞紙の使命で...

祝、創刊拾週年

- 植田町 小林讓三郎 赤井村 川瀨炭礦 森合芳男 赤井村 株式會社...

平町四丁目 伊勢屋商店	平町四丁目 袋屋商店	平町三丁目 大谷時計病院	平町三丁目 杵壽	平町三丁目 藤居商店	平町三丁目 梅原利三郎	平町二丁目 堀藥局	平町二丁目 柏原眞吾	平町二丁目 會田美髮所	平町二丁目 三井自動車部	平町一丁目 坂本紙店	平町一丁目 大平藥店	平町一丁目 藤寅	祝、創刊拾週年
平町大町 諸橋敬一郎	平町南町 賀澤眼科醫院	平町南町 上田耕作	平町二丁目 鈴木堅助	平町南町 魚敬	平町南町 御料理 玉よし	平町南町 木村病院	平町新川町 田中宣治	平町新川町 片倉警械製絲株式會社	平町新川町 草野七三之助	平町新川町 金成醫院	平町五丁目 志賀與市	平町五丁目 新妻文吾	
平町田町 酒井伴城	平町田町 野崎自動車部	平町田町 ライト寫眞館	平町田町 レストランサロン	平町新田町 御料理 八千代	平町中田町 御料理 青柳	平町新川町 松本健	平町古殿治町 山崎合名會社	平町新川町 山崎清三	平町新川町 住吉屋本店	平町新川町 梅田榮太郎	平町堂ノ前 梅崎安正	平町新川町 渡邊整骨療院	平町十五丁目 松本榮一商店
平町舊城跡 橋本芳太郎	平町舊城跡 齋藤榮一	平町舊城跡 花澤兎五六	平町舊城跡 鈴木光四郎	平町城山聚樂園 飯田近治	平町城山 山崎宣吉	平町番匠町 堀江正茂	平町會議員 多田井笑次郎	平町白銀町 株式福島貯蓄銀行支店	平町新川町 平料理屋組合	縣會議員 野崎滿藏	平町田町 萩原申八	平町田町 永山勇吉	平町田町 大橋秀冬
江名小學校長 四家建吉	豐間村 遠藤勝政	豐間村 遠藤俊雄	高久村 鈴木榮吉郎	高久村 藁谷久太郎	及井村 松崎金松	飯野村 山崎吉平	飯野高等小學校 飯野高等小學校	平町七軒町 荒川恒次郎	平町久保町 永山和平	平町久保町 宮内喜忠	平町八幡小路 松井深	平町八幡小路 大塚保	平町新川町 大和田豊吉
內郷村第三小學校長 柴田正則	內郷村第一小學校長 成田政助	磐城炭礦株式會社礦業所	鹿島村松之須根 黒木美顯	鹿島村會議員 鶴沼忠義	鹿島村會議員 佐原良近	小瀧礦泉 瀧の湯	玉川村 渡邊一男雄	立憲黨正會磐城支部長 齋藤晃	小名濱町 佐々木善作	小名濱町 鈴木忠亮	小名濱町助役 高木保	小名濱町助役 小野晋平	江名小學校 遠藤菊次郎
平町五丁目 釜屋商店	新製品 ヨツト安全剃刀	研器兼用 皮砥付	電話四〇番 關内藥局	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖	西村屋藥舖



新製品ヨツト安全剃刀

研器兼用 皮砥付

替刃三枚付 1.00

吸入用酸素純度99%

体温器 寒暖計

西村屋藥舖

平町二丁目(電話四三番)

西村屋藥舖

平町二丁目(電話四三番)

西村屋藥舖

平町二丁目(電話四三番)